

児童の実態

- ・明るく素直で何事にも前向きに取り組める児童が多い。
- ・じっくりと粘り強く取り組むという点で弱さが見られる。
- ・仲間や地域との関わりを大切にして生活を送っている。

学校の課題

- ・主体的に取り組む教育活動の推進と教育課程の改善
- ・知識及び技能の活用と、思考力、判断力、表現力の育成
- ・望ましい人間関係を構築していく集団づくり
- ・よりよい生き方を粘り強く求める心身の育成
- ・自他の生命を尊重する態度の育成
- ・安心・安全な環境づくりと危機管理体制の確立
- ・「ふるさと揖斐」の誇りを醸成する特色ある教育の展開

町の方針と重点

- ・高い資質をもつ教職員が連帯した、組織的な学校経営
- ・児童一人一人に「生きる力」を育む指導
- ・地域とつながる、郷土愛あふれる学校づくり

学校の教育目標
考える子 心豊かな子 元気な子

<目指す学校像> いきいき揖斐小 居心地のよい学校

「考える子」

◎いきいきと学ぶ姿をめざして

- ①主体的・対話的に学び合う集団づくり
 - ・「話す」「聞く」「書く」における表現力の育成
 - ・学び合う必然性がある課題設定と学習活動の展開
- ②「好き」を育み「得意」を伸ばす授業の充実
 - ・「知りたい、やってみたい」から生まれる探究的な学びの場面の設定
 - ・探究的な学びにつながる自己調整力の育成
- ③学力の基礎となる読書活動の充実
 - ・本に手が届く環境づくりと読書に親しむ時間の確保
 - ・幅広い分類の読書の推進

「心豊かな子」

◎いきいきと
仲間と交わる姿をめざして

- ④互いを思いやって行動する集団づくり
 - ・相手への敬意と親しみの思いを込めた挨拶の推進
 - ・多様な考えや行動、姿を認め合う「かがやき見つけ」の充実
- ⑤自分たちの学校を創る特別活動の展開
 - ・よさの伸長や課題の改善に資する自主的・自治的な学級活動・児童会活動の充実
- ⑥一人一人を認め合う異学年交流
 - ・役割意識と自己有用感を育む「みどり班掃除」「みどり班遊び」の充実

「元気な子」

◎いきいきと心身を磨く姿をめざして

- ⑦心身の調和を図る指導の充実
 - ・「いきいきアンケート」の活用と教育相談体制の充実
 - ・乗り越える経験の場と、やり切った達成感を味わわせる指導の工夫
 - ・心身の自己管理能力の育成
- ⑧安全・安心な生活・学習環境づくり
 - ・自らの手で環境を整える意識や、危険予知意識のさらなる向上
- ⑨夢に向かって進むキャリア教育
 - ・夢について考える場、自分の夢を語る場の位置づけ

保護者が通わせたい学校

- ・子どものよさや課題をタイムリーに家庭に伝え、情報共有・共通理解・共通行動を大切にして子どもを育てる。
- ・「子どもたちの健やかな成長を願う会」と積極的に連携を図り、保護者と願いを共有しながら子どもを育てる。

地域の誇りとなる学校

- ・地域の歴史や文化、伝統に積極的に触れ、ふるさとへの誇りと愛着をもった子どもを育てる。
- ・コミュニティスクールの機能をいかして、地域ぐるみの教育を推進する。

未来につなぐ多様性の受容・特別支援的視点

- ・多様性や特別支援教育についての正しい理解
- ・全職員の共通理解に基づく個に応じた指導
- ・全職員・保護者・関係機関との連携の強化
- ・即時的、継続的なケース会議の実施

SWPBS：全校で取り組むポジティブ行動支援

- ・やる気を引き出す場面の設定や手立ての工夫
- ・具体的な姿の明確化と、即時的な認め・価値づけの充実
- ・可視化による自己有用感、自己肯定感の育成

“一枚岩”の職員集団、“一枚岩”の指導体制

- 共感的理解に基づく生徒指導・教育相談・家庭連携の実施
 - 全校体制で、いじめ、暴言、暴力を絶対に許さない
 - 報告・連絡・相談がしやすい職員室・校長室づくり
- 子どもに関わる時間と心のゆとりを確保するための働き方改革
- 児童・保護者から信頼される教職員としての資質向上と不祥事の根絶